



## CHAPTER 2

# Cisco ISE 3300 シリーズ ハードウェアについて

この章では、Cisco Identity Services Engine (ISE) 3300 シリーズ アプライアンス ハードウェアを紹介し、サポート アプライアンス ハードウェア、主要なコンポーネント、コントロール、コネクタ、前面および背面パネルの LED インジケータについて説明します。この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco ISE シリーズ アプライアンス」(P.2-1)
- 「Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス ハードウェアの概要」(P.2-1)

## Cisco ISE シリーズ アプライアンス

Cisco Application Deployment Engine (ADE) リリース 2.0 オペレーティング システム (ADE-OS) と Cisco ISE ソフトウェアは、専用 Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスまたは VMware サーバ (Cisco ISE VM) のいずれかで実行します。Cisco ISE リリース 1.1 ソフトウェアは、この専用プラットフォームで他のパッケージまたはアプリケーションのインストールをサポートしません。追加のハードウェア互換性情報については、『[Release Notes for Cisco Identity Service Engine, Release 1.1](#)』を参照してください。

## Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス ハードウェアの概要

表 2-1、表 2-2、および表 2-3 に、サポートされる各 Cisco ISE アプライアンスのハードウェア仕様の概要を示します。ネットワーク インターフェイス カード (NIC) ポート、電源装置ソケット、LED、および対応するパネルの重要なコントロールまたはボタンを示す詳細な図へのハイパーリンクについては、「図」カラムを参照してください。

表 2-1 Cisco ISE 3315 アプライアンス ハードウェアの概要

ハードウェアおよびサポートの仕様	図
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco ISE 同時エンドポイント サポート :<sup>1</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>– ポリシー サービス ノードのみ : 最大 3,000</li> <li>– その他のノード タイプまたは組み合わせ : 最大 2,000</li> </ul> </li> <li>• シングル プロセッサ : クアッドコア Intel Xeon (コア 2 クアッド)</li> <li>• 4 ギガバイト (GB) RAM</li> <li>• 2 x 250 GB SATA<sup>2</sup> ハード ディスク ドライブ (HDD)</li> <li>• 4 つの 10/100/1000 LAN ポート (2 つの統合 NIC と 2 つのギガビット (Gb) NIC (PCI-E))</li> <li>• CD/DVD-ROM ドライブ</li> <li>• 4 つの USB ポート (前面パネルに 2 つ、背面パネルに 2 つ)</li> <li>• 背面パネルに 2 つの Gb イーサネット ポート</li> <li>• 背面パネルに 1 つのシリアル ポート</li> <li>• 前面パネルに 1 つの Video Graphics Array (VGA) ポート</li> <li>• 重量 : 24.25 ポンド (11.0 kg) ~ 28.0 ポンド (12.7 kg)。取り付けられたオプションによって異なります。</li> <li>• 寸法 : 1.75 インチ H x 17.3 インチ W x 22.0 インチ D (44.5 mm x 440.0 mm x 559.0 mm)。これらの寸法にはラック ハンドルが含まれません。</li> <li>• 冷却ファン : 5 つ (さらに、電源装置に 2 つ)。</li> <li>• ラック マウント : スライド レールを使用します (「スライド レールのラックへの取り付け」(P.B-4) を参照)。標準的な 19 インチ (48.3 cm) の 4 支柱装置ラックに取り付けます (提供されたラックマウント ブラケットを使用)。</li> <li>• 最大動作高度 : 7000 フィート (2133 m)。</li> <li>• 動作温度範囲 : 50 ~ 90 °F (10 ~ 35 °C) 最大 3,000 フィート (914.4 m)。50 ~ 90 °F (10 ~ 32 °C) 3000 ~ 7000 フィート (914.4 ~ 2133 m)。</li> <li>• 電源 : AC 入力電源用に設定されています。単一のオートレンジ AC 入力電源装置 (350 ワット) が搭載されています。</li> </ul> <p>(注) 通常、Cisco ISE 3315 アプライアンスは、4 支柱装置ラックに取り付けるためのブラケットまたはレールを含むラックマウント ハードウェア キットとともに出荷されます。詳細については、「Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの 4 支柱ラックへのマウント」(P.B-2) を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図 2-2 (P.2-6)、「Cisco ISE 3315 前面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-3 (P.2-7)、「Cisco ISE 3315 前面パネルの LED と ボタン」</li> <li>• 図 2-4 (P.2-8)、「Cisco ISE 3315 背面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-5 (P.2-8)、「Cisco ISE 3315 の背面パネル LED」</li> </ul>

1. 同時エンドポイントは、サポートされるユーザとデバイスの合計数を表します。これには、ユーザ、パーソナル コンピュータ、ラップトップ、IP 電話、スマートフォン、ゲーム コンソール、プリンタ、ファクス機、またはその他のネットワーク デバイスを組み合わせることができます。
2. SATA = Serial Advanced Technology Attachment (シリアル ATA)。

表 2-2 Cisco ISE 3355 アプライアンス ハードウェアの概要

ハードウェアおよびサポートの仕様	図
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco ISE 同時エンドポイント サポート：<sup>1</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>– ポリシー サービス ノードのみ：最大 6,000</li> <li>– その他のノード タイプまたは組み合わせ：最大 2,000</li> </ul> </li> <li>• シングル プロセッサ：クアッドコア Intel Xeon (Nehalem)</li> <li>• 4 GB RAM</li> <li>• 2 x 300 GB SAS<sup>2</sup> RAID<sup>3</sup> HDD</li> <li>• 4 つの 10/100/1000 LAN ポート (2 つの統合 NIC と 2 つの Gb NIC (PCI-E))</li> <li>• CD/DVD-ROM ドライブ</li> <li>• 4 つの USB ポート (前面パネルに 1 つ、内部に 1 つ、背面パネルに 2 つ)</li> <li>• 背面パネルに 2 つの Gb イーサネット ポート</li> <li>• 背面パネルに 1 つのシリアル ポート</li> <li>• 2 つの VGA ポート (前面パネルに 1 つ、背面パネルに 1 つ)</li> <li>• Cavium CN-1620-400-NHB-G アクセラレータ カード</li> <li>• 重量：28 ポンド (12.7 kg) ~ 34.5 ポンド (15.6 kg)。取り付けられたオプションによって異なります。</li> <li>• 寸法：1.7 インチ H x 17.3 インチ W x 28.0 インチ D (43 mm x 440.0 mm x 711.4 mm)。これらの寸法にはラック ハンドルが含まれません。</li> <li>• 冷却ファン：シングルプロセッサ (Cisco ISE 3355) またはデュアルプロセッサ (Cisco ISE 3395) の場合は 6 つ。</li> <li>• ラック マウント：スライドレールを使用します (「スライドレールのラックへの取り付け」 (P.B-4) を参照)。標準的な 19 インチ (48.3 cm) の 4 支柱装置ラックに取り付けます (提供されたラックマウントブラケットを使用)。</li> <li>• 最大動作高度：7000 フィート (2133 m)。</li> <li>• 動作温度範囲：50 ~ 90 °F (10 ~ 35 °C) 最大 3000 フィート (914.4 m)。50 ~ 90 °F (10 ~ 32 °C) 3000 ~ 7000 フィート (914.4 ~ 2133 m)。</li> <li>• 電源：AC 入力電源用に設定されています。二重冗長化自動切り替え電源装置 (675 ワット) が搭載されています。</li> </ul> <p>(注) 通常、Cisco ISE 3355 アプライアンスと Cisco ISE 3395 アプライアンスは、4 支柱装置ラックに取り付けるためのブラケットまたはレールを含むラックマウント ハードウェアキットとともに出荷されます。詳細については、「Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの 4 支柱ラックへのマウント」 (P.B-2) を参照してください。Cisco ISE 3300 シリーズアプライアンス向けのラックマウントハードウェアキットには、2 支柱装置ラックは含まれません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図 2-7 (P.2-9)、「Cisco ISE 3355 前面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-8 (P.2-10)、「Cisco ISE 3355 前面パネルの LED とボタン」</li> <li>• 図 2-9 (P.2-11)、「Cisco ISE 3355 背面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-10 (P.2-13)、「Cisco ISE 3355 の背面パネル LED」</li> </ul>

1. 同時エンドポイントは、サポートされるユーザとデバイスの合計数を表します。これには、ユーザ、パーソナルコンピュータ、ラップトップ、IP 電話、スマートフォン、ゲーム コンソール、プリンタ、ファクス機、またはその他のネットワーク デバイスを組み合わせることができます。
2. SAS = Single-Attachment Station。
3. RAID = Redundant Array of Independent Disks。

表 2-3 Cisco ISE 3395 アプライアンス ハードウェアの概要

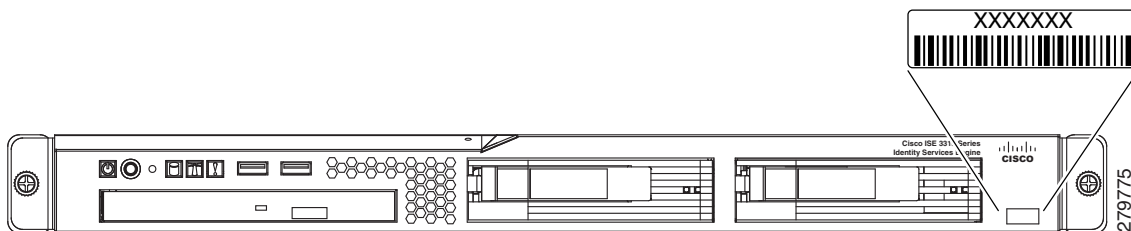
ハードウェアおよびサポートの仕様	図
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco ISE 同時エンドポイント サポート：<sup>1</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>– ポリシー サービス ノードのみ：最大 10,000</li> <li>– その他のノード タイプまたは組み合わせ：最大 2,000</li> </ul> </li> <li>• デュアル プロセッサ：2 × クアッドコア Intel Xeon (Nehalem)</li> <li>• 4 GB RAM</li> <li>• 4 x 300 GB SAS RAID HDD</li> <li>• 4 つの 10/100/1000 LAN ポート (2 つの統合 NIC と 2 つの Gb NIC (PCI-E))</li> <li>• CD/DVD-ROM ドライブ</li> <li>• 4 つの USB ポート (前面パネルに 1 つ、内部に 1 つ、背面パネルに 2 つ)</li> <li>• 背面パネルに 2 つの Gb イーサネット ポート</li> <li>• 背面パネルに 1 つのシリアル ポート</li> <li>• 2 つの VGA ポート (前面パネルに 1 つ、背面パネルに 1 つ)</li> <li>• Cavium CN-1620-400-NHB-G アクセラレータ カード</li> <li>• 重量：28 ポンド (12.7 kg) ~ 34.5 ポンド (15.6 kg)。取り付けられたオプションによって異なります。</li> <li>• 寸法：1.7 インチ H x 17.3 インチ W x 28.0 インチ D (43 mm x 440.0 mm x 711.4 mm)。これらの寸法にはラック ハンドルが含まれません。</li> <li>• 冷却ファン：シングルプロセッサ (Cisco ISE 3355) またはデュアルプロセッサ (Cisco ISE 3395) の場合は 6 つ。</li> <li>• ラック マウント：スライド レールを使用します (「スライド レールのラックへの取り付け」(P.B-4) を参照)。標準的な 19 インチ (48.3 cm) の 4 支柱装置ラックに取り付けます (提供されたラックマウント ブラケットを使用)。</li> <li>• 最大動作高度：7000 フィート (2133 m)。</li> <li>• 動作温度範囲：50 ~ 90 °F (10 ~ 35 °C) 最大 3000 フィート (914.4 m)。50 ~ 90 °F (10 ~ 32 °C) 3000 ~ 7000 フィート (914.4 ~ 2133 m)。</li> <li>• 電源：AC 入力電源用に設定されています。二重冗長化自動切り替え電源装置 (675 ワット) が搭載されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図 2-12 (P.2-14)、「Cisco ISE 3395 前面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-13 (P.2-15)、「Cisco ISE 3395 前面パネルの LED とボタン」</li> <li>• 図 2-14 (P.2-16)、「Cisco ISE 3395 背面パネルの機能」</li> <li>• 図 2-15 (P.2-17)、「Cisco ISE 3395 の背面パネル LED」</li> </ul>

1. 同時エンドポイントは、サポートされるユーザとデバイスの合計数を表します。これには、ユーザ、パーソナルコンピュータ、ラップトップ、IP 電話、スマートフォン、ゲーム コンソール、プリンタ、ファクス機、またはその他のネットワーク デバイスを組み合わせることができます。

## Cisco ISE 3315 のシリアル番号の場所

シリアル番号のラベルは、Cisco ISE 3315 の前面パネルの左下ににあります (図 2-1 を参照)。

図 2-1 Cisco ISE 3315 アプライアンスのシリアル番号の場所



(注) Cisco ISE 3315 のシリアル番号は、Cisco Unique Device Identifier (UDI) の仕様により定義され、この仕様に従います。

## Cisco ISE 3315 の前面および背面パネル

Cisco ISE 3315 プラットフォームは、最大 3 つの追加アプライアンスまたは 3 つのハイ アベイラビリティ ペアを管理する展開に推奨されます。Cisco ISE 3315 には、NIC インターフェ이스の柔軟な選択や、ハイ アベイラビリティ構成での使用を実現する 4 つのネットワーク インターフェ이스が搭載されています。詳細については、「Cisco ISE シリーズ アプライアンス」(P.2-1) を参照してください。

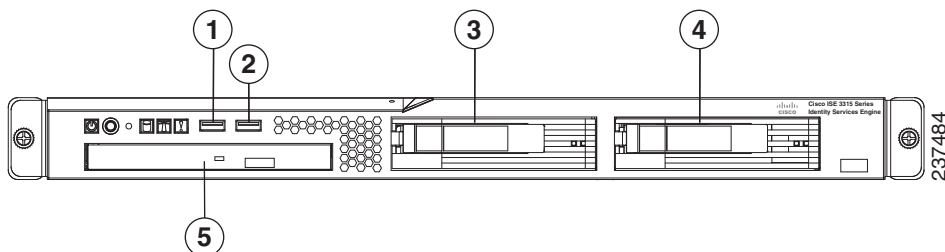


(注) 同時エンドポイントは、サポートされるユーザとデバイスの合計数を表します。これには、ユーザ、パーソナル コンピュータ、ラップトップ、IP 電話、スマートフォン、ゲーム コンソール、プリンタ、ファクス機、またはその他のネットワーク デバイスを組み合わせることができます。

## Cisco ISE 3315 前面パネルの機能

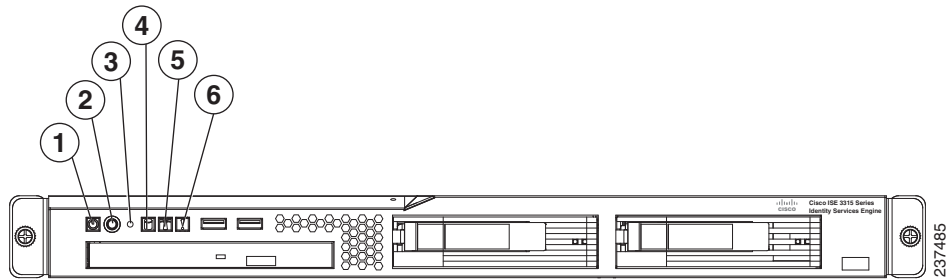
図 2-2、図 2-3、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3315 前面パネルの機能、LED、およびボタンを示し、それらについて説明しています。

図 2-2 Cisco ISE 3315 前面パネルの機能



1	前面 USB ポート 1	4	HDD ベイ 1
2	前面 USB ポート 2	5	CD-ROM/DVD ドライブ
3	ハードディスク ドライブ (HDD) ベイ 0		

図 2-3 Cisco ISE 3315 前面パネルの LED とボタン

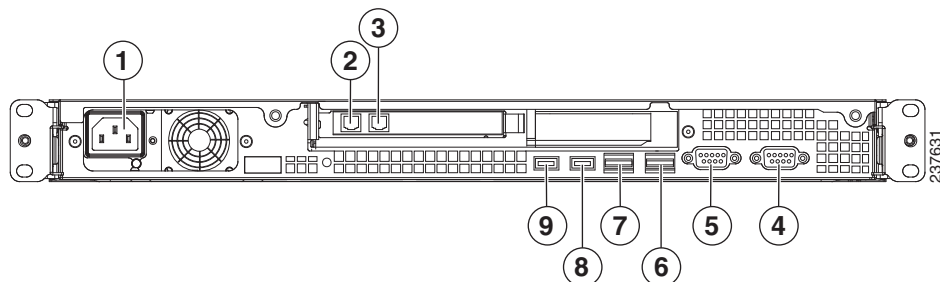


1	電源ステータス LED	緑色 = アプライアンスに AC 電源が接続され、電源が投入されています。 消灯 = アプライアンスの電源が入っていません (AC 電源の切断)。
2	電源ボタン	(埋め込み型)。
3	リセット ボタン	(埋め込み型)。
4	HDD アクティビティ LED	緑色の点滅 = ドライブが動作中です。 消灯 = ドライブが動作していません。
5	ロケータ ボタンまたは LED	青色の点滅 = ロケータ ボタンが押されました。
6	システム ヘルス LED	消灯 = システムが正常な状態です。 オレンジ色 = 障害予測システムしきい値に達しました。これは、次のいずれかの状況によって引き起こされることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>少なくとも 1 つのファン (システム ファンまたはプロセッサ ファン) で障害が発生しました。</li> <li>少なくとも 1 つの温度センサー (システム温度センサーまたはプロセッサ温度センサー) が危険なレベルに達しました。</li> <li>少なくとも 1 つのメモリ モジュールで障害が発生しました。</li> <li>電源装置ユニットでエラーが発生しました。</li> </ul>

## Cisco ISE 3315 背面パネルの機能

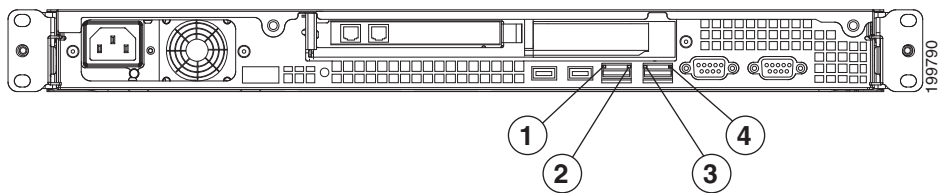
図 2-4、図 2-5、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3315 背面パネルの機能および LED を示し、それらについて説明しています。

図 2-4 Cisco ISE 3315 背面パネルの機能



1	AC 電源装置ケーブル ソケット	6	NIC 2 (eth1) ギガビット イーサネット インターフェイス
2	NIC 3 (eth2) アドオン カード	7	NIC 1 (eth0) ギガビット イーサネット インターフェイス
3	NIC 4 (eth3) アドオン カード	8	背面 USB ポート 4
4	シリアル ポート	9	背面 USB ポート 3
5	ビデオ ポート		

図 2-5 Cisco ISE 3315 の背面パネル LED



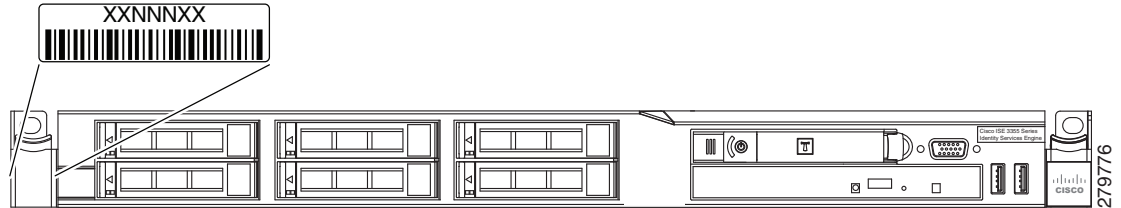
1	NIC 1 (eth0) アクティビティ LED	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
2	NIC 1 (eth0) リンク LED	緑色 = リンクが存在します。 消灯 = リンクが存在しません。
3	NIC 2 (eth1) アクティビティ LED	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
4	NIC 2 (eth1) リンク LED	緑色 = リンクが存在します。 消灯 = リンクが存在しません。



## Cisco ISE 3355 のシリアル番号の場所

シリアル番号のラベルは、Cisco ISE 3355 の前面パネルの左下にあります (図 2-6 を参照)。

図 2-6 Cisco ISE 3355 アプライアンスのシリアル番号の場所



(注) Cisco ISE 3355 のシリアル番号は、Cisco UDI の仕様により定義され、この仕様に従います。

## Cisco ISE 3355 の前面および背面パネル

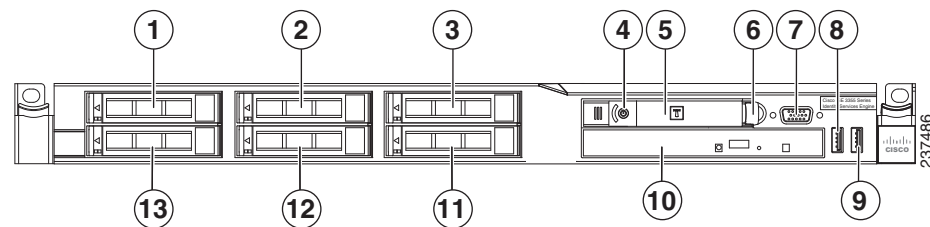
Cisco ISE 3355 プラットフォームは、最大 20 の他のアプライアンスまたはハイ アベイラビリティ ペアを管理する企業全体の展開に対して拡張機能を提供します。Cisco ISE 3315 と同様に、Cisco ISE 3355 には、NIC インターフェイスの柔軟な選択や、ハイ アベイラビリティ構成での使用を実現する 4 つのネットワーク インターフェイスが搭載されています。

また、Cisco ISE 3355 は、4 GB の RAM、RAID 0 および 1 で設定された 2 つの SAS ドライブ、デュアル電源装置、および大規模なネットワーク展開のために Secure Sockets Layer (SSL) をサポートする Cavium CN-1620-400-NHB-G アクセラレータ カードを提供し、ネットワーク コアでの展開の集中管理の信頼性を強化します。詳細については、「[Cisco ISE シリーズ アプライアンス](#)」(P.2-1) を参照してください。

## Cisco ISE 3355 前面パネルの機能

図 2-7、図 2-8、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3355 前面パネルの機能、LED、およびボタンを示し、それらについて説明しています。

図 2-7 Cisco ISE 3355 前面パネルの機能

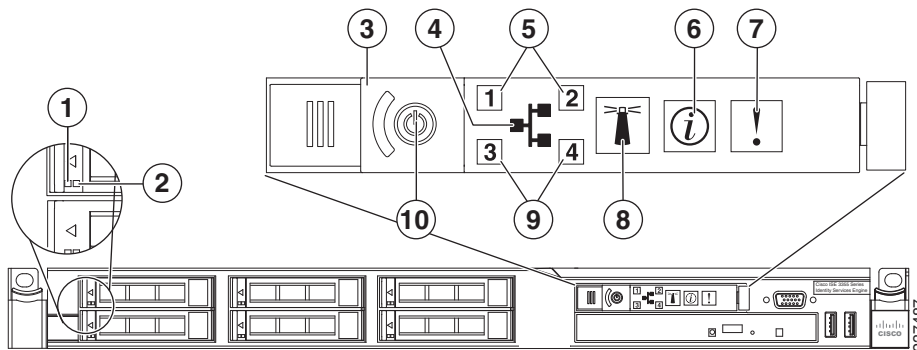


1	HDD ベイ 0	8	前面 USB ポート 1
2	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>	9	前面 USB ポート 2
3	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>	10	CD-ROM/DVD ドライブ
4	LED インジケータ付き電源ボタン (2 色 : 緑色またはオレンジ色)	11	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>

5	オペレータ情報パネル	12	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>
6	オペレータ情報パネル リリース スイッチ	13	HDD ベイ 1
7	ビデオ ポート		

1. Cisco ISE 3355 アプライアンスに追加のハード ドライブを取り付けることはできません。

図 2-8 Cisco ISE 3355 前面パネルの LED とボタン



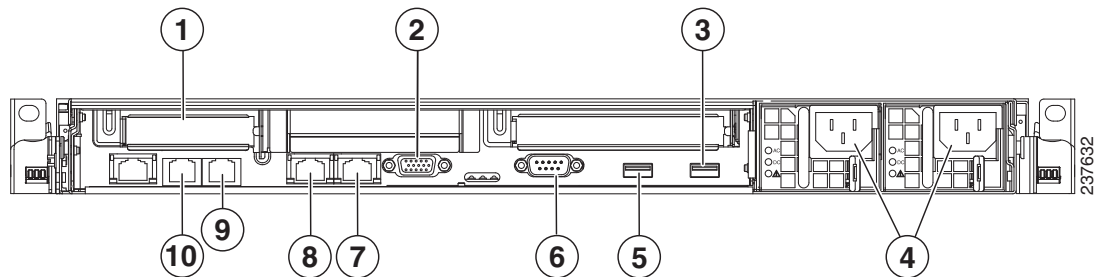
1	HDD アクティビティ LED	緑色 = ハード ディスク ドライブが動作しています。 緑色の点滅 = ハード ディスク ドライブが動作しています。 消灯 = ハード ディスク ドライブがアイドル状態か無効です。
2	HDD ステータス LED	オレンジ色 = ハード ディスク ドライブがエラー状態です。 消灯 = ハード ディスク ドライブが機能しているか、電源から切断されています。
3	電源スイッチ ボタン カバー	カバーを左または右にスライドして、電源スイッチを露出または保護します。
4	イーサネット アイコン LED	緑色 = イーサネット インターフェイスが設定され、アップ状態になっています。 消灯 = イーサネット インターフェイスが現在設定されていないか、すべてダウン状態になっています。
5	イーサネット インターフェイス アクティビティ LED (NIC 1 および NIC 2)	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
6	情報 LED	オレンジ色 = 重大ではないシステム イベントが発生しました。 消灯 = システムは正常に動作しています。

7	システム ヘルス LED	<p>消灯 = システムが正常な状態です。          オレンジ色 = 障害予測システムしきい値に達しました。これは、次のいずれかの状況によって引き起こされることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 少なくとも 1 つのファン（システム ファンまたはプロセッサ ファン）で障害が発生しました。</li> <li>• 少なくとも 1 つの温度センサー（システム温度センサーまたはプロセッサ温度センサー）が危険なレベルに達しました。</li> <li>• 少なくとも 1 つのメモリ モジュールで障害が発生しました。</li> <li>• 電源装置ユニットでエラーが発生しました。</li> </ul>
8	前面ロケータ ボタンまたは LED	青色の点滅 = ロケータ ボタンが押されました。
9	イーサネット インターフェイス アクティビティ LED (NIC 3 および NIC 4)	<p>緑色 = アクティビティが存在します。          緑色の点滅 = アクティビティが存在します。          消灯 = アクティビティが存在しません。</p>
10	LED 付き電源ボタン	<p>緑色 = アプライアンスに AC 電源が接続され、電源が投入されています。          緑色の短点滅 = アプライアンスはオフ状態であり、まだオンにすることができません。通常、アプライアンスのこの状態は 1 ~ 3 分間しか続きません。          緑色の長点滅 = アプライアンスは現在オフ状態であり、オンにすることができます。          徐々に退色する緑色の点滅 = アプライアンスはパワーセーブモードであり、オンにすることができます。          消灯 = アプライアンスの電源が入っていません (AC 電源の切断)。</p>

## Cisco ISE 3355 背面パネルの機能

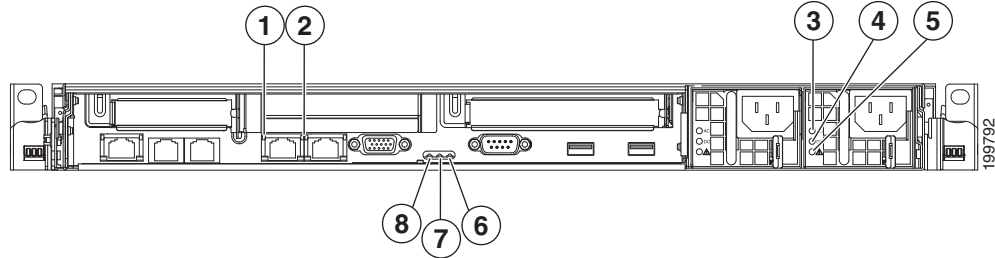
図 2-9、図 2-10、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3355 背面パネルの機能および LED を示し、それらについて説明しています。

図 2-9 Cisco ISE 3355 背面パネルの機能



1	空き (未使用) PCI Express スロット	6	シリアル ポート (シリアル コンソール、DB9 接続)
2	ビデオ ポート	7	NIC 2 (eth1) ギガビット イーサネット インターフェイス
3	背面 USB ポート 4	8	NIC 1 (eth0) ギガビット イーサネット インターフェイス
4	AC 電源装置ケーブル ソケット	9	NIC 4 (eth3) アドオン カード
5	背面 USB ポート 3	10	NIC 3 (eth2) アドオン カード

図 2-10 Cisco ISE 3355 の背面パネル LED

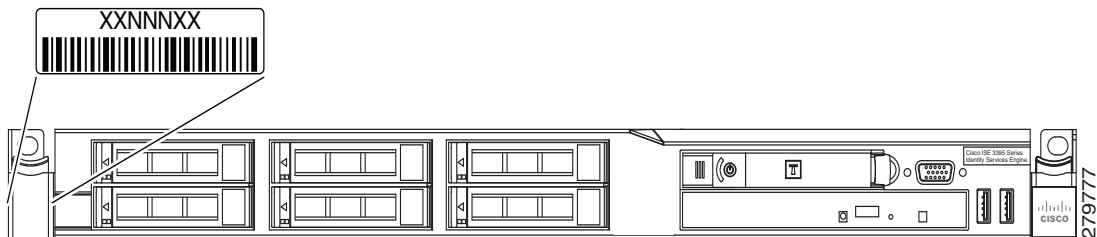


1	NIC 1 (eth0) アクティビティ LED	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
2	NIC 1 (eth0) リンク LED	緑色 = リンクが存在します。 消灯 = リンクが存在しません。
3	AC 電源 LED	緑色 = AC 電源が電源装置に接続されています。 消灯 = AC 電源が電源装置に接続されていません。
4	DC 電源 LED	緑色 = DC 電源が電源装置に接続されています。 消灯 = DC 電源が電源装置に接続されていません。
5	電源装置エラー LED	オレンジ色 = 電源装置に電力が供給されていますが、電源装置がエラー状態です。 消灯 = 電源装置が正常に機能しているか (AC および DC 電源インジケータが緑色の場合)、または電源装置が切断されています。
6	システム エラー LED	オレンジ色 = システム エラーが発生したことを示しています。 消灯 = システムは正常に動作しています。
7	背面ロケータ LED	青色の点滅 = 前面ロケータ ボタンが押されました。
8	電源 LED	緑色 = アプライアンスに AC 電源が接続され、電源が投入されています。 緑色の短点滅 = アプライアンスはオフ状態であり、まだオンにすることができません。通常、アプライアンスのこの状態は 1 ~ 3 分間しか続きません。 緑色の長点滅 = アプライアンスは現在オフ状態であり、オンにすることができます。 徐々に退色する緑色の点滅 = アプライアンスはパワーセーブモードであり、オンにすることができます。 消灯 = アプライアンスの電源が入っていません (AC 電源の切断)。

## Cisco ISE 3395 のシリアル番号の場所

シリアル番号のラベルは、Cisco ISE 3395 の前面パネルの左下にあります (図 2-11 を参照)。

図 2-11 Cisco ISE 3395 アプライアンスのシリアル番号の場所



(注) Cisco ISE 3395 のシリアル番号は、Cisco UDI の仕様により定義され、この仕様に従います。

## Cisco ISE 3395 の前面および背面パネル

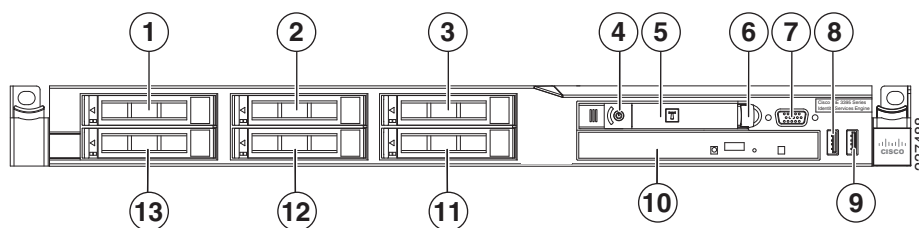
Cisco ISE 3395 アプライアンスは、拡張された処理、メモリ、および最大 40 の追加アプライアンスまたは HA ペアを管理する企業全体の展開に必要な電源を提供します。

Cisco ISE 3395 は、デュアルプロセッサ、デュアル電源装置、4 GB の RAM、4 つの HDD、4 つのネットワーク インターフェイス、および大規模なネットワーク展開のために SSL をサポートする Cavium CN-1620-400-NHB-G アクセラレータ カードを搭載し、ネットワーク コアでの展開の集中管理の信頼性を強化します。詳細については、「Cisco ISE シリーズ アプライアンス」(P.2-1) を参照してください。

### Cisco ISE 3395 前面パネルの機能

図 2-12、図 2-13、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3395 前面パネルの機能、LED、およびボタンを示し、それらについて説明しています。

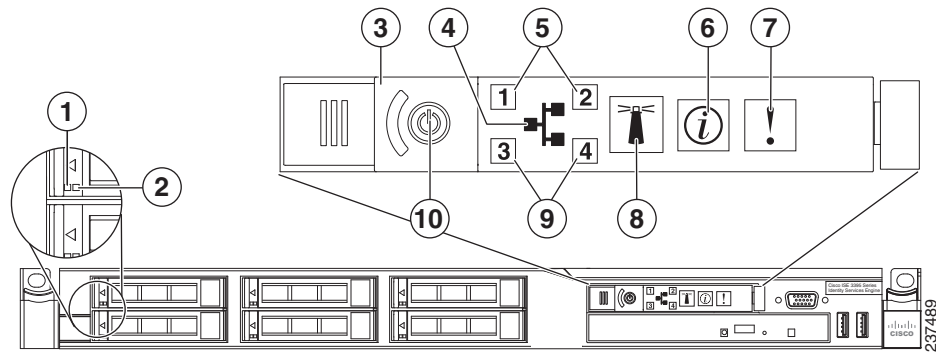
図 2-12 Cisco ISE 3395 前面パネルの機能



1	HDD ベイ 0	8	前面 USB ポート 1
2	HDD ベイ 2	9	前面 USB ポート 2
3	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>	10	CD-ROM/DVD ドライブ
4	LED インジケータ付き電源ボタン (2色: 緑色またはオレンジ色)	11	空の (未使用) HDD ベイ <sup>1</sup>
5	オペレータ情報パネル	12	HDD ベイ 3
6	オペレータ情報パネル リリース スイッチ	13	HDD ベイ 1
7	ビデオ ポート		

1. Cisco ISE 3395 アプライアンスに追加のハード ドライブを取り付けることはできません。

図 2-13 Cisco ISE 3395 前面パネルの LED とボタン



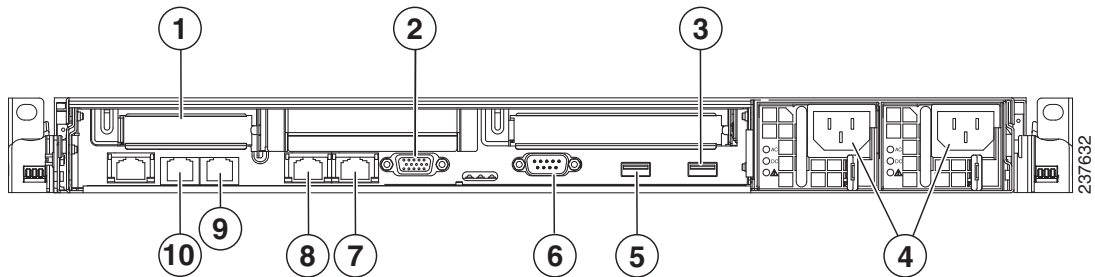
1	HDD アクティビティ LED	緑色 = ハード ディスク ドライブが動作しています。 緑色の点滅 = ハード ディスク ドライブが動作しています。 消灯 = ハード ディスク ドライブがアイドル状態か無効です。
2	HDD ステータス LED	オレンジ色 = ハード ディスク ドライブがエラー状態です。 消灯 = ハード ディスク ドライブが機能しているか、電源から切断されています。
3	電源スイッチ ボタン カバー	カバーを左または右にスライドして、電源スイッチを露出または保護します。
4	イーサネット アイコン LED	緑色 = イーサネット インターフェイスが設定され、アップ状態になっています。 消灯 = イーサネット インターフェイスが現在設定されていないか、イーサネット インターフェイスがすべてダウン状態になっています。
5	イーサネット インターフェイス アクティビティ LED (NIC 1 および NIC 2)	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
6	情報 LED	オレンジ色 = 重大ではないシステム イベントが発生しました。 消灯 = システムは正常に動作しています。

7	システム ヘルス LED	<p>消灯 = システムが正常な状態です。          オレンジ色 = 障害予測システムしきい値に達しました。これは、次のいずれかの状況によって引き起こされることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 少なくとも 1 つのファン (システム ファンまたはプロセッサ ファン) で障害が発生しました。</li> <li>• 少なくとも 1 つの温度センサー (システム温度センサーまたはプロセッサ温度センサー) が危険なレベルに達しました。</li> <li>• 少なくとも 1 つのメモリ モジュールで障害が発生しました。</li> <li>• 電源装置ユニットでエラーが発生しました。</li> </ul>
8	ロケータ ボタンまたは LED	青色の点滅 = ロケータ ボタンが押されました。
9	イーサネット インターフェイス アクティビティ LED (NIC 3 および NIC 4)	<p>緑色 = アクティビティが存在します。          緑色の点滅 = アクティビティが存在します。          消灯 = アクティビティが存在しません。</p>
10	電源ボタンまたは LED	<p>緑色 = アプライアンスに AC 電源が接続され、電源が投入されています。          緑色の短点滅 = アプライアンスはオフ状態であり、まだオンにすることができません。通常、アプライアンスのこの状態は 1 ~ 3 分間しか続きません。          緑色の長点滅 = アプライアンスは現在オフ状態であり、オンにすることができます。          徐々に退色する緑色の点滅 = アプライアンスはパワーセーブモードであり、オンにすることができます。          消灯 = アプライアンスの電源が入っていません (AC 電源の切断)。</p>

## Cisco ISE 3395 背面パネルの機能

図 2-14、図 2-15、およびそれらの図とともに提供される表は、Cisco ISE 3395 前面パネルの機能、LED、およびボタンを示し、それらについて説明しています。

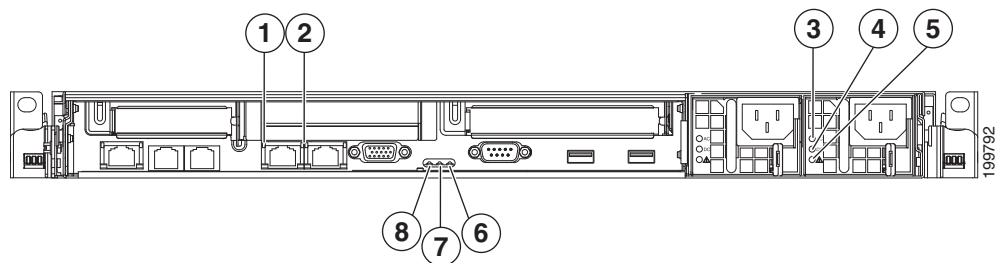
図 2-14 Cisco ISE 3395 背面パネルの機能





1	空き (未使用) PCI Express スロット	6	シリアル ポート (シリアル コンソール、DB9 接続)
2	ビデオ ポート	7	NIC 2 (eth1) ギガビット イーサネット インターフェイス
3	背面 USB ポート 4	8	NIC 1 (eth0) ギガビット イーサネット インターフェイス
4	AC 電源装置ケーブル ソケット	9	NIC 4 (eth3) アドオン カード
5	背面 USB ポート 3	10	NIC 3 (eth2) アドオン カード

図 2-15 Cisco ISE 3395 の背面パネル LED



1	NIC 1 (eth0) アクティビティ LED	緑色 = アクティビティが存在します。 緑色の点滅 = アクティビティが存在します。 消灯 = アクティビティが存在しません。
2	NIC 1 (eth0) リンク LED	緑色 = リンクが存在します。 消灯 = リンクが存在しません。
3	AC 電源 LED	緑色 = AC 電源が電源装置に接続されています。 消灯 = AC 電源が電源装置に接続されていません。
4	DC 電源 LED	緑色 = DC 電源が電源装置に接続されています。 消灯 = DC 電源が電源装置に接続されていません。
5	電源装置エラー LED	オレンジ色 = 電源装置に電力が供給されていますが、電源装置がエラー状態です。 消灯 = 電源装置が正常に機能しているか (AC および DC 電源インジケータが緑色の場合)、または電源装置が切断されています。

6	システム エラー LED	オレンジ色 = システム エラーが発生したことを示しています。 消灯 = システムは正常に動作しています。
7	背面ロケータ LED	青色の点滅 = 前面ロケータ ボタンが押されました。
8	電源 LED	緑色 = アプライアンスに AC 電源が接続され、電源が投入されています。 緑色の短点滅 = アプライアンスはオフ状態であり、まだオンにすることができません。通常、アプライアンスのこの状態は 1 ~ 3 分間しか続きません。 緑色の長点滅 = アプライアンスは現在オフ状態であり、オンにすることができます。 徐々に退色する緑色の点滅 = アプライアンスはパワーセーブモードであり、オンにすることができます。 消灯 = アプライアンスの電源が入っていません (AC 電源の切断)。